

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 10月 3日 ( 15:00～ 16:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	中尾、濱田、小俣、八代、長富、能美、諏訪、河村 上野、山本、沖田、武田、三木、弘中、川本、栄田、今井

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	15人			16人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>得た情報を支援にきちんと反映させる為、口頭での伝達は勿論の事、伝達ノートや申し送り日報にしっかり記載する習慣を全職員が意識し、正しい情報の共有を志す。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝達ノートに記載する習慣はついてきているが、まだまだ口頭のみでの伝達も見られる為、正しい情報の共有までには至っていない。</li> </ul>

## ◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1人	15人			16人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2人	14人			16人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2人	14人			16人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1人	14人	1人		16人

できている点	ミーティングや朝の申し送り、伝達ノート等で情報の共有は出来ている。
--------	-----------------------------------

できていない点	伝達ノートに記載していない事があつたり、業務に追われて見れていない事がある。 新規の利用者の初期カンファレンスが出来ていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝達ノートを職員用、1階・2階・3階利用者用と分けて、職員が内容を把握しやすいように細分化し、情報の共有や支援の取組みがきちんと行えるように志す。</li> </ul>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 3日 ( 15:00～ 16:00)

2. 「～したい」の実現  
(自己実現の尊重)

メンバー 中尾、濱田、小俣、八代、長富、能美、諏訪、河村  
上野、山本、沖田、武田、三木、弘中、川本、栄田、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	15人			16人

前回の改善計画
・現状の職員体制でどうすれば利用者のケアに対して、より良い支援ができるかを各利用者の担当職員を中心に情報収集しながら実践に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・利用者の担当職員を中心にケアの方向性や支援について発信できるようになってきているが、担当が知らないうちに物事が決まったりする事も見られる。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール) 」がわかっていますか?	1人	11人	4人		16人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2人	12人	2人		16人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		11人	5人		16人
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1人	14人	1人		16人

できている点
担当職員を中心に、問題点や改善点を考え支援に努めている。

できていない点
担当職員が知らない間に決まり事が決まっていたり、担当以外の利用者に関してどのように支援等を行うのか分からない事がある。また、利用者の「～したい。」といった希望に添えない事がある。

次回までの具体的な改善計画
・利用者の担当職員一人一人が中心となってケアマネや管理者、他職員と連携を密に取りながら、ケアについての的確な情報発信を行う事でより良いケアに繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 3日 ( 15:00～ 16:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 中尾、濱田、小俣、八代、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、沖田、武田、三木、弘中、川本、栄田、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		11人	5人		16人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当職員を中心に他職員も積極的に利用者からの情報を聞き出しながら「私の姿と気持ちシート」を作成し記載していく事により利用者本人の姿を形成しケアに繋げていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初は、みんなで「私の姿と気持ちシート」を書き込んでいたが段々と記入する事がなくなり、新規の利用者は殆ど記入が見られなくなった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		6人	10人		16人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3人	13人			16人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	12人	3人		16人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2人	14人			16人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?		13人	3人		16人

できている点	<p>ミーティングや申し送りなど、利用者のADLの変化に柔軟に対応し支援する事が出来ている。 「私の姿と気持ちシート」の取り組みを始める事ができた。</p>
--------	--

できていない点	<p>利用者に寄り添ったケアが出来ていない。「私の姿と気持ちシート」の継続が出来ていない。</p>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の生活支援の中で利用者からの様々な情報を得る事は出来ているが、その内容を職員全体に周知する場がない。「私の姿と気持ちシート」の記入を前年から取り組んでいるが活用できるまでに至っていない為、引き続きノートの記入を継続して行い情報共有に役立てていく。</li> </ul>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 3日 ( 15:00～ 16:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 中尾、濱田、小俣、八代、長富、能美、諏訪、河村  
上野、山本、沖田、武田、三木、弘中、川本、栄田、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	2人	1人	16人

前回の改善計画
・コロナウイルス感染症予防による自粛が治まり次第、散歩や外出行事、地域イベント等への参加を積極的に行って行きたい。また、行事においても家族と共に参加できる事を企画し、家族と本人との関わり、絆を支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・施設内インフルエンザ蔓延により、ご家族参加の夏祭りは中止となったが、施設周辺の散歩や花見、地域の夏祭り等に参加したり、敬老会や年忘れ会などの大きな行事もご家族の当日参加で楽しく過ごすことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		11人	5人		16人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3人	10人	3人		16人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1人	11人	3人		15人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1人	7人	6人	1人	15人

できている点
コロナ禍ではあるが、面会制限の緩和などでご家族とのふれあいや、近隣への外出・施設内行事も少しずつ開始する事が出来ている。

できていない点
コロナやインフルエンザの感染により、ご家族参加の行事や外出行事が行えなかった。

次回までの具体的な改善計画
・コロナやインフルエンザなどの感染対策は引き続き行いながら、ご利用者様と家族・地域との関わりを深める場を提供していくと共に、施設という枠組みを超え「普通の生活」により近づける支援を心掛ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 23日 ( 15:00～ 16:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 中尾、濱田、小俣、八代、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、沖田、武田、三木、弘中、川本、栄田、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	12人			15人

前回の改善計画
・利用者のニーズに配慮しつつ、有料入居者の方も施設内での生活が楽しく過ごせる様に、「通い」を今以上に充実させた支援に取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・通いについては、昨年に比べ充実してきている。ただ、参加に消極的な利用者は殆ど参加されなかったり、毎日でも来たいと思っている利用者の回数制限があり、本人の意向になかなか添えなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2人	7人	5人	1人	15人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3人	12人			15人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4人	10人	1人		15人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2人	13人			15人

できている点
・有料入居者の通いは、本人の意向を重視しながら行う事で充実してきている。 ・毎朝の申し送りや月1回のカンファレンスで、利用者の状態の変化を話し合い、支援に繋げる事ができている。

できていない点
・通いに消極的な入居者に対して、上手くアプローチ出来ていない。 ・有料とロングショートステイで身体状況に適していない提供が見られることがある。

次回までの具体的な改善計画
・有料入居者の方の「通い」は充実してきているが、今以上に回数等、個々のニーズに適した支援を提供していく事で生活の満足度を高めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 23日 ( 15:00～ 16:00)

6. 連携・協働

メンバー 中尾、濱田、小俣、八代、長富、能美、諏訪、河村  
上野、山本、沖田、武田、三木、弘中、川本、栄田、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	5人	1人	16人

前回の改善計画
・コロナウイルス感染症の流行が落ち着き次第、地域活動に積極的に参加し、地域に溶け込める事業所を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果
・海岸清掃や時節駐車場の清掃には参加できたが、その他の地域活動には参加する事ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2人	10人	3人	1人	16人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2人	5人	8人	1人	16人
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2人	5人	7人	2人	16人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1人	7人	8人	16人

できている点
・運営推進会議での地域の方や行政との情報交換、入居前の担当者会議での多職種との話し合いは行えている。 ・地域包括支援センター主催の介護支援専門員連絡会に年間3回参加している。 ・少人数ではあるが、横野地区の夏祭りに参加できた。

できていない点
・コロナ禍でもあり、地域活動には参加する機会があまりなかった。

次回までの具体的な改善計画
・コロナが5類に移行した事で、感染対策の緩和は行われてきているが、感染状況はまだまだ注視していく必要がある為、感染対策は引き続きしっかりと行いながら、地域活動に積極的に参加し地域の中の事業所として溶け込めるよう目指して行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 23日 ( 15:00～ 16:00)

7. 運営

メンバー 中尾、濱田、小俣、八代、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、沖田、武田、三木、弘中、川本、栄田、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		10人	5人	1人	16人

前回の改善計画
・利用者や利用者家族、地域の方から頂いた意見や情報を収集し、イベント等への参加や地域との共同作業に積極的に参加し交流を深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・地域の夏祭りや他施設での音楽イベントには少人数ではあるが、利用者が参加する事ができたが、地域での活動には人員不足などもあり参加できなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		11人	4人	1人	16人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	12人	2人	1人	16人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	7人	7人	1人	16人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1人	10人	4人	1人	16人

できている点
・コロナ禍ではあるが、感染の状況を見ながら近隣のイベントや施設内行事も少しずつ行えるようになってきた。 ・月に1回、職員全体ミーティングを開催しており、職員同士で意見交換できている。

できていない点
・花見や地域の夏祭りなどには参加できたが、地域活動には人員不足などもあり、なかなか参加する事が出来なかった。

次回までの具体的な改善計画
・利用者家族や地域の住民からの貴重な情報を基に、利用者や職員が地域でのイベント等に積極的に参加し地域との関わりを深めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 23日 ( 15:00～ 16:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 中尾、濱田、小俣、八代、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、沖田、武田、三木、弘中、川本、栄田、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	4人		14人

前回の改善計画
・今までも研修案内の資料を掲示するなど外部研修に参加しやすい環境を整えてきたが、今後は伝達ノートにも研修参加を促す情報を記載する事でより一層の参加を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果
・職員によって数回、外部研修に参加している職員もいれば1回も参加できていない職員もいて格差が見られた。最初は伝達ノートに研修案内を記入していたが、中頃から記入も無くなり参加を促す選択肢が1つ減った。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2人	12人	1人		15人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	8人	6人		15人
③ 地域連絡会に参加していますか		4人	6人	4人	14人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人	13人	1人		15人

できている点
・研修案内などを参考に、外部研修に積極的に参加できている。

できていない点
・まだまだ職員によって研修に参加する職員としない職員が居り、職員全体のスキル向上には繋げる筈が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画
・外部研修で得た知識を職場に持ち帰り、職員全体に周知する事で施設の質を向上できるように取り組んでいくと共に、職員一人一人のスキルアップを目指す。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 23日 ( 15:00～ 16:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 中尾、濱田、小俣、八代、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、沖田、武田、三木、弘中、川本、栄田、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	13人	1人		15人

前回の改善計画
・認知症の方について職員全員が理解を深め、利用者の立場に立った対応ができる様、尊厳を守っていく事を意識した支援を心掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果
・毎年行っている、身体拘束や虐待研修において職員一人一人の意識を高めたり、毎朝の朝礼で令和5年度の施設目標を唱和する事で少しずつ利用者に対しての支援に良い変化が出てきた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	5人	11人			16人
② 虐待は行われていない	4人	12人			16人
③ プライバシーが守られている	2人	11人	2人		15人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	2人	8人	3人	2人	15人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている		16人			16人

できている点
・センサー使用者が2名。作動時間や行動理由などを記録に残し、週1回、必要性について話し合いを行っている。毎年、身体拘束や虐待についての勉強会を開催する事で利用者へ寄り添った支援を行うよう努めている。

できていない点
・職員に余裕がない時など、強い口調になることがある。 ・排泄の確認などする際、大きな声でプライバシーの配慮に欠ける事がある。

次回までの具体的な改善計画
・更なる「認知症」についての理解を深めつつ、不適切な言動に対して職員同士が注意し合える職場環境を整えていく事で、利用者が安心して暮らせるより良い施設を目指す。